

# 南部市場環境モニタリング結果(平成29年度)

その1 (大気)

測定・分析機関：(株) 静環検査センター

項 目		測 定 結 果		規制基準 (数値以下)	処理目標値 (数値以下)	測定回数				
		上 半 期	下 半 期							
大気 (ばい煙)	ダイオキシン類	市場内 (pg-TEQ/m <sup>3</sup> )	-	-	0.6 (環境基準)	—				
		焼却炉 1号 (ng-TEQ/m <sup>3</sup> N)			5	1				
		焼却炉 2号 (ng-TEQ/m <sup>3</sup> N)			—	—				
	硫黄酸化物	市場内 (ppm)			- 【*1】	- 【*1】	1.17 (K値)	—		
		焼却炉 1号 (m <sup>3</sup> N/h)					—	—		
		焼却炉 2号 (m <sup>3</sup> N/h)					—	—		
	塩化水素	市場内 (ppm)					0.024	0.019	700	—
		焼却炉 1号 (mg/m <sup>3</sup> N)							—	—
		焼却炉 2号 (mg/m <sup>3</sup> N)							—	—
	ばいじん	市場内 (mg/m <sup>3</sup> )			<0.005	<0.005			0.05	0.05
		ボイラー 1号 (g/m <sup>3</sup> N)	<0.006	<0.006						
		ボイラー 2号 (g/m <sup>3</sup> N)	(6月, 9月) <0.005 【*2】	- 【*2】						
		冷温水発生機 1号 (g/m <sup>3</sup> N)	(6月, 9月) <0.005 【*2】	- 【*2】	0.04	0.04				
		コージェネレーション 1号 (g/m <sup>3</sup> N)	<0.010	<0.010	0.15	0.05				
		コージェネレーション 2号 (g/m <sup>3</sup> N)	<0.010	<0.010						
		焼却炉 1号 (g/m <sup>3</sup> N)	- 【*1】	- 【*1】	150	60				
		焼却炉 2号 (g/m <sup>3</sup> N)								
		窒素酸化物	市場内 (ppm)	0.030			0.028	600	200	
	ボイラー 1号 (ppm)		14	25						
	ボイラー 2号 (ppm)		15	24						
冷温水発生機 1号 (ppm)	(6月) 19 (9月) 21 【*2】		- 【*2】							
冷温水発生機 2号 (ppm)	(6月) 19 (9月) 19 【*2】		- 【*2】	250			200			
コージェネレーション 1号 (ppm)	100		190							
コージェネレーション 2号 (ppm)	62		120							
焼却炉 1号 (ppm)	- 【*1】		- 【*1】	250	200					
焼却炉 2号 (ppm)										

\*1 大気中のダイオキシン類・硫黄酸化物・塩化水素及び焼却炉の各測定項目：29年度は焼却炉の稼働が休止中のため測定せず。

\*2 冷温水発生機各測定：冷温水発生機は夏季のみ稼働するため、上半期に2回測定。

# 南部市場環境モニタリング結果(平成29年度)

## その2 (悪臭)

項 目			測 定 結 果										規 制 基 準	処 理 目 標 値	測 定 回 数
			上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期			
敷 地 境 界	悪 臭 物 質  【*1】	アンモニア (ppm)	0.1	<0.1	0.2	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1	1	2回/年 (夏,春)		
		メチルメルカプタン(ppm)	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002	0.002			
		硫化水素 (ppm)	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02	0.02			
		硫化メチル (ppm)	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01	0.01			
		二硫化メチル (ppm)	<0.0009	<0.0009	<0.0009	<0.0009	<0.0009	<0.0009	<0.0009	<0.0009	0.009	0.009			
		トリメチルアミン (ppm)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.005	0.005			
		アセトアルデヒド (ppm)	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.05	0.05			
	臭気指数【*3】	<10	<10	<10	<10	<10	<10	<10	<10	15	10				
気 体 排 出 口	臭 気 指 数	焼却炉煙突	—【*2】		—【*2】		—【*2】		—【*2】		30	25	4回/年 (夏2,冬1,春1)		
		焼却処理室 脱臭装置出口	上半期	—【*2】		—【*2】		—【*2】		—【*2】					
		本館棟 脱臭装置出口		(7月)	<12	(8月)	<12	(12月)	<12	(3月)				<12	
		排水処理室 脱臭装置出口		(7月)	<12	(8月)	15	(12月)	<12	(3月)				<12	

\*1 悪臭物質（7項目）は7月・3月に測定。

\*2 焼却炉煙突・焼却処理室脱臭装置出口の臭気指数：29年度は焼却炉の稼働が休止中のため、測定せず。

\*3 臭気指数とは

- ① 人の嗅覚を利用した官能検査によって、臭いの程度を数値化したもの（具体的には、人が臭いを感じなくなるまで臭気物質を薄めたときの倍率を用いて計算する）。
- ② 未知の物質や複合臭（複数の臭いが混じると相加・相乗効果が起こる場合がある）等、機械では測定できないものにも対応が可能。
- ③ 人の感覚に近く、総合的に評価できる。臭気指数20は臭気指数10に比べ、臭いが2倍程強い（臭気物質の濃度は10倍濃い）。
- ④ 臭気指数の目安

臭気指数	10	15	20	25	30	35	45
具体例	梅の花	化粧品売場 ・道路沿道	トイレ芳香剤・ 花火の煙・ジン チョウゲの花	しょう油・線香	ガソリン・ タバコの煙	コーヒー	ニンニク炒め

# 南部市場環境モニタリング結果（平成29年度）

## その3（騒音・振動）

項 目			測 定 結 果										規制基準 (数値以下)	処理目標値 (数値以下)	測定回数		
			上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期					
騒 音 (dB) 【*3】	敷 地 境 界	朝 【*1】	東 側	70	70	西 側	57	54	南 側	62	63	北 側	74	66	朝, 昼間, 夕 75  夜間 70	朝, 昼間, 夕 50  夜間 50	2 回/年 (夏・冬)
		昼間 【*1】		69	70		54	57		61	61		69	67			
		夕 【*1】		67	69		52	55		58	59		60	63			
		夜間 【*1】		66	68		51	53		58	58		59	62			
振 動 (dB)	敷 地 境 界	昼間 【*2】	東 側	39	39	西 側	34	34	南 側	36	36	北 側	44	46	昼間 75 夜間 70	昼間 65 夜間 55	2 回/年 (夏・冬)
		夜間 【*2】		34	35		31	31		32	32		36	38			

\*1 朝；6～8時、昼間；8～19時、夕；19～22時、夜間；22時～6時（表中数値は、時間率騒音レベルL 5相当値）

\*2 昼間；7～20時、夜間；20～7時（表中数値は、時間率振動レベルL 10相当値）

\*3 騒音の測定・分析機関による評価の概要

**【29年度上半期】 7月24日～25日**

東側;主な音源は、全ての時間帯において、車の通行音・虫の鳴き声であり、南部市場からの稼働音は、車の通行音等の暗騒音が途切れた場合、若干聞き取れる状況であった。

西側;主な音源は、朝・夕・夜間は車の通行音・虫の鳴き声、昼間は車の通行音・虫の鳴き声・近隣工場音であり、南部市場からの稼働音は、車の通行音等の暗騒音が途切れた場合、若干聞き取れる状況であった。

南側;主な音源は、全ての時間帯において、車の通行音・虫の鳴き声であり、南部市場からの稼働音は、車の通行音等の暗騒音が途切れた場合、若干聞き取れる状況であった。

北側;主な音源は、朝は車の通行音・虫の鳴き声・鳥の鳴き声、昼間・夕・夜間は車の通行音・虫の鳴き声であり、南部市場からの稼働音は、車の通行音等の暗騒音が途切れた場合、若干聞き取れる状況であった。

**【29年度下半期】 12月21日～22日**

東側;主な音源は、朝は車の通行音・鳥の鳴き声、昼間・夕・夜間は車の通行音であり、南部市場からの稼働音は、車の通行音等の暗騒音が途切れた場合、若干聞き取れる状況であった。

西側;主な音源は、朝は車の通行音・鳥の鳴き声、昼間は車の通行音・工事音、夕は車の通行音・近隣工場音・風切音、夜間は車の通行音・近隣工場音であり、南部市場からの稼働音は、車の通行音等の暗騒音が途切れた場合、若干聞き取れる状況であった。

南側;主な音源は、朝は車の通行音・鳥の鳴き声、昼間は車の通行音・風切音、夕・夜間は車の通行音であり、南部市場からの稼働音は、車の通行音等の暗騒音が途切れた場合、若干聞き取れる状況であった。

北側;主な音源は、朝は車の通行音・鳥の鳴き声、昼間は車の通行音・近隣工場音・風切音、夕・夜間は車の通行音・近隣工場音であり、南部市場からの稼働音は、車の通行音等の暗騒音が途切れた場合、若干聞き取れる状況であった。

## 南部市場環境モニタリング結果(平成29年度)

### その4 (水質)

項 目		測 定 結 果											規 制 基 準	処 理 目 標 値	測 定 回 数			
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月				3月		
水 質	市 場 排 水 口	COD【化学的酸素要求量】 (mg/l)	2.7	1.8	2.6	1.6	4.8	1.7	0.6	1.9	1.6	1.8	5.3	0.8	25	10	毎 月 1 回	
		SS【浮遊物質】 (mg/l)	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	30		4
		ノルマルヘキサン抽出物質 (mg/l)	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	10		1
		T-N【総窒素量】 (mg/l)	1.8	1.4	1.5	1.4	1.6	1.3	1.3	1.8	1.8	9.0	5.0	0.6	20	10		
		T-P【総リン量】 (mg/l)	<0.06	<0.06	0.63	0.06	0.10	<0.06	0.08	0.24	0.49	<0.06	0.08	<0.06	3	1		
		pH【水素イオン濃度】	6.8	7.2	7.4	7.3	7.3	7.2	7.6	7.3	7.5	6.9	7.0	7.3	5.0 ~ 9.0	6.0 ~ 8.5		
水 質	総 量	COD 【化学的酸素要求量】 (kg/日)	平 均	2.2	2.6	2.7	2.7	2.7	2.7	2.0	1.4	1.5	1.3	1.5	1.4	42	—	常 時 測 定
			最 小 値	1.0	1.1	1.8	1.7	0.9	1.7	1.1	0.7	0.3	0.1	0.5	0.0			
			最 大 値	3.4	3.3	3.4	3.3	3.6	3.4	3.6	2.0	1.8	2.9	3.4	3.1			
	規 制	T-N 【総窒素】 (kg/日)	平 均	2.4	1.7	1.0	1.0	0.8	6.0	2.9	3.1	3.4	5.5	3.7	3.4	33.6	—	
			最 小 値	0.9	0.7	0.3	0.4	0.0	0.0	0.8	0.3	0.4	0.2	0.0	0.0			
			最 大 値	4.1	5.3	1.8	1.9	2.4	25.6	9.5	10.8	7.9	12.2	9.0	9.2			
	制	T-P 【総リン】 (kg/日)	平 均	0.01	0.01	0.00	0.00	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	0.02	0.02	5.04	—	
			最 小 値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			
			最 大 値	0.02	0.02	0.01	0.02	0.02	0.04	0.06	0.02	0.06	0.04	0.08	0.05			